

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【公表番号】特表2003-523278(P2003-523278A)

【公表日】平成15年8月5日(2003.8.5)

【出願番号】特願2001-561161(P2001-561161)

【国際特許分類】

|        |       |           |
|--------|-------|-----------|
| C 02 F | 1/50  | (2006.01) |
| A 01 N | 25/30 | (2006.01) |
| A 01 N | 37/02 | (2006.01) |
| A 01 N | 61/00 | (2006.01) |

【F I】

|        |       |         |
|--------|-------|---------|
| C 02 F | 1/50  | 5 1 0 C |
| C 02 F | 1/50  | 5 2 0 A |
| C 02 F | 1/50  | 5 2 0 K |
| C 02 F | 1/50  | 5 3 2 C |
| C 02 F | 1/50  | 5 4 0 B |
| A 01 N | 25/30 | Z A B   |
| A 01 N | 37/02 |         |
| A 01 N | 61/00 | D       |

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月13日(2008.2.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】水性系と接触する表面の微生物バイオフィルムを除去する方法であつて、当該方法が、水性系での微生物の生存度を保持しながら表面から微生物バイオフィルムを実質的に除去して水性系から微生物を排出できるようにするのに有効な量の低発泡性エトキシル化陰イオン界面活性剤を水性系に添加する段階を含んでおり、低発泡性エトキシル化陰イオン界面活性剤が(a)アルキル置換カルボン酸及びアルキル置換カルボン酸塩の少なくとも1種と(b)ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレンブロック共重合体とを含む、方法。

【請求項2】前記アルキル置換カルボン酸又は塩の炭素原子数が6~18である、請求項1記載の方法。

【請求項3】前記アルキル置換カルボン酸又は塩が、3,5,5-トリメチルヘキサン酸及びその塩、3,5,5-トリメチルオクタン酸及びその塩、3,7,7-トリメチルオクタン酸及びその塩、3,5,5-トリメチルデカン酸及びその塩、並びに3,9,9-トリメチルデカン酸及びその塩の少なくとも1種を含む、請求項1記載の方法。

【請求項4】前記ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレンブロック共重合体がポリオキシプロピレン1モルに対してポリオキシエチレン1~1.6モルのモル比を有する、請求項1記載の方法。

【請求項5】前記低発泡性エトキシル化陰イオン界面活性剤が、界面活性剤の合計重量を基準にして、水を35~70重量%含む、請求項1記載の方法。

【請求項6】前記低発泡性エトキシル化陰イオン界面活性剤が、界面活性剤の合計重量を基準にして、アルキル置換カルボン酸及びアルキル置換カルボン酸塩の少なくとも

1種を25～45重量%含む、請求項5記載の方法。

【請求項7】 前記低発泡性エトキシリ化陰イオン界面活性剤が、界面活性剤の合計重量を基準にして、ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレンブロック共重合体を5～25重量%含む、請求項6記載の方法。

【請求項8】 前記界面活性剤が1種以上の金属イオン封鎖剤をさらに含む、請求項1記載の方法。

【請求項9】 前記アルキル置換カルボン酸及びアルキル置換カルボン酸塩の少なくとも1種が、炭素原子数が6～12でアルキル基の炭素原子数が1のアルキル置換カルボン酸のカリウム塩又はナトリウム塩を含んでおり、ポリオキシエチレン・ポリオキシプロピレンブロック共重合体が4000～5000の分子量及びポリオキシプロピレン1モルに対してポリオキシエチレン1～1.6モルのモル比を有する、請求項1記載の方法。

【請求項10】 前記アルキル置換カルボン酸のカリウム塩又はナトリウム塩が3,5,5-トリメチルヘキサン酸のカリウム塩又はナトリウム塩を含む、請求項9記載の方法。